



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

創刊号(2008年3月10日)



『らくだより』創刊のお知らせ

このたび、中東地域の情報発信レポート『らくだより』(ラクダからのお便りという意味)を創刊することとなりました。株式市場や経済に限らず、現地で起こっている様々なジャンルの情報をわかりやすくお伝えしてまいりたいと考えております。皆様の中東地域に対するご理解を深めていただくための一助になれば幸いに存じます。

尚、当レポートは随時、弊社ホームページ(<http://www.sparx.co.jp/>)に掲載してまいりますので、ご覧いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

高さだけではありません、質にもこだわります

ご存知、完成すれば世界最高層のビルになるといわれているUAEの“ブルジュ・ドバイ”ですが、このほど完成が4ヶ月程遅れるとの発表がありました。“ブルジュ・ドバイ”はドバイの大手不動産会社エマール社が建設中の高層ビルで、完成時には800mを超えることから世界的にも注目を集めています。当初の完成時期は2008年末としており、年内でのオープニングが予定されておりましたが、高さのみならず内装の質にもこだわるあまり、今回の工期延長に至ったそうです。「質を落とすくらいなら、工期を遅らせたほうがいい」、といった発想はさすが世界でも有数のお金持ち、何でも一番でない気がすまないのかもしれない。



(グッド・バイ) ブルジュ・ドバイ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



各国の街並みが再現された居住区開発

パームアイランドやザ・ワールドの開発で知られる、UAEの不動産開発企業ナキール社は、このほどドバイのインターナショナルシティと名付けられた地域の建物の受け渡しを完了したと発表しました。インターナショナルシティは2003年に建設を開始して、今回受け渡しが完了した387の建物を含む居住区と、現在工事中の34の計画からなる中心部から成り立ちます。近隣には、中国産品の集積地であるドラゴン・マートや人口湖などもあります。全387の建物は、9つの国際的なテーマを与えられた居住区で、これらの建物は22,000戸以上の住宅で、70,000人以上が住むことになるといわれております。インターナショナルシティの9つの居住区はそれぞれテーマに沿った街づくりがされていて、中国、イングランド、フランス、ギリシャ、イタリア、モロッコ、ロシアといった国々の町並みが再現されています。ドバイ国際空港から12kmという立地条件と値段の手ごろさから、各国の富裕層やエリートビジネスマンなどから非常に高い関心を集めているようです。ドバイの開発は、高層ビルや埋め立て地といった単位だけではなく、街単位での大規模開発が行われていて、やっぱり派手さが際立ちますね。

(無きにしもアラブ)



ドバイのインターナショナルシティ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



エミレーツ航空、中国への直行便を拡大

世界最高レベルのサービスを提供するという数々の賞を受賞している、アラブ首長国連邦(ドバイ)のエミレーツ航空が、このほど中国の広州への直行便をスタートさせると発表しました。エミレーツ航空は、今後世界中に路線を拡大してゆく予定ですが、今回の広州の直行便は、上海、北京、香港に次ぐ中国4本目の路線になります。今年7月より、週4回(月、火、木、日)、12月からは中国各都市に毎日直行便が飛ぶ予定です。世界経済の中心になろうとしている中国とドバイですが、お互いに重要な地域と考えているからこそ、このような急速な路線拡大が図られているのでしょうか。ちなみに日本からの直行便は、まだ大阪と名古屋のみですが、早急な路線拡大を期待したいところです。(グッドバイ)

アラブの人は、ネットショッピングが苦手？

あるインターネットセキュリティ会社の最近の調査によると、アラブ首長国連邦(UAE)のインターネットユーザーの約75%が、ネットショッピングについて“ちょっとこわい”“リスクを感じる”と考えているようです。日本ではインターネットを使っている人なら、ほとんどの人が何のためらいもなくネットショッピングを利用していることからするとこれはかなり驚きの数字です。中東地域でネットショッピングがもっとも進んでいる国がUAEで全体の人口の25%、次がサウジアラビアで14%、以下クウェートの10%と続きます。急速な経済発展を遂げている中東地域でも、意外に慎重な人たちが多いのかもしれません。(グッドバイ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近3ヶ月)



出所：ブルームバーグ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。